

四季報 夏号

第二百二十六号 (No.126)

芹沢文学研究会・会報

令和5(2023)年7月28日(金)刊行

◎「光治良・文子・玲子」を読む

「夏の歌」
梅雨の日々

大雨降りて

洪水と

土砂崩れあり

死者も続々…

松林庵主人

6月11日(日) 14時～16時に、サロン・マグノリアで

講演会「新潮社時代の芹沢光治良との交流」講師 櫻井信夫

(元新潮社 芹沢光治良担当 財団評議員)が行われました。定員30名、お茶代1000円。盛況であったものと思います。

財団から、小冊子『芹沢光治良ノート③』(『孤絶』)を刊行。

☆生誕127年 **芹沢光治良を偲ぶ会 5月4日(木)昼**

芹沢先生の誕生日に、沼津芹沢光治良文学愛好会の主催

で「**芹沢光治良を偲ぶ会**」が、沼津市芹沢光治良記念館2階市民ギャラリーで

13時30分～15時に行われました。第一部 芹沢光治良作の朗読を聴く『緑の校

庭』朗読 江藤幸、電子ピアノ演奏 不破公美。第二部 芹沢が愛したピアノの音を聴く
ドビッシュー「月の光」「水の戯れ」ラベル「かなしい鳥」電子ピアノ演奏 及川智史

芹沢光治良 生誕日記念 無料開館&記念イベント **企画展 展示説明会 5月4日(木)**

沼津市芹沢光治良記念館では、開催中の企画展「光治良の欧州体験第2回」の

展示説明会を5月4日の10時30分～と15時30分～の2回行いました。定員8人。

1階展示室。関連イベント「芹沢光治良を偲ぶ会」は2階市民ギャラリーで。

▽沼津市制100周年記念企画展「沼津ゆかりの文学者たち」第1回

沼津市芹沢光治良記念館では、沼津市制100周年記念の企画展として「沼津

ゆかりの文学者たち」が第1回、第2回で行われます。第1回は、6月15日(木)

～11月30日(木)。開館時間9:00～19:00 休館日 月曜日、休日の翌日、年末年始。

観覧料 高校生以上500円、小人300円。市内の小中学生無料。*同封資料②を参照して下さい。

◇図録「沼津ゆかりの文学者たち第1回」沼津市芹沢光治良記念館発行

目次 企画展「沼津ゆかりの文学者たち」の開催について、沼津市制百周年と文学的風土、名誉市民の文学者 芹沢光治良・井上靖・大岡信、沼津ゆかりの文学者第一回 若山牧水・江崎惇・川村晃・佐藤雅彦・鈴木英治・秋山香乃。A4判、53頁。

★芹沢光治良文学愛好会の例会 第528回 6月25日(日) ◆ ◆ ◆

6月25日(日)午後1～5時に第528回の芹沢光治良文学愛好会の例会が、東中

野区民活動センターの洋室42階で行われました。短編小説「わが家」(第一回)第

三回をテキストにして、芹沢耕太郎氏が司会(担当)しましたようです。

このテキストは鈴木春雄氏が企画作成したようですが、カラーの表紙で雑誌「愛國婦人」の様々な頁も入れて編集していて昭和15年頃の戦時下が知られますが、たった2頁の連載を3冊もの小冊子としてテキストにしているのは読書会のテキストとしては無駄遣いと思われまます。3回の連載は一冊にして、テキスト代を少なくすべきです。年会費や例会費が高くなり、会費や参加者も減っているようですから…。

会報「通信No.528」の同封資料として(1)「定期総会 議案書」(2)「芹沢光治良と音楽」

「芹沢光治良と音楽」(3)「憲法記念日に考える」(沼津朝日 令和5(2023)年5月3日(木))、

(4)「芹沢光治良誕生日に偲ぶ会」(沼津朝日 令和5(2023)年5月7日(日))、(5)『わが青春』へ9

～「二日の食事がパン一枚」昭和60年(1985)年2月2日(土)が同封されていました。

記念企画展/図録/図録/図録

